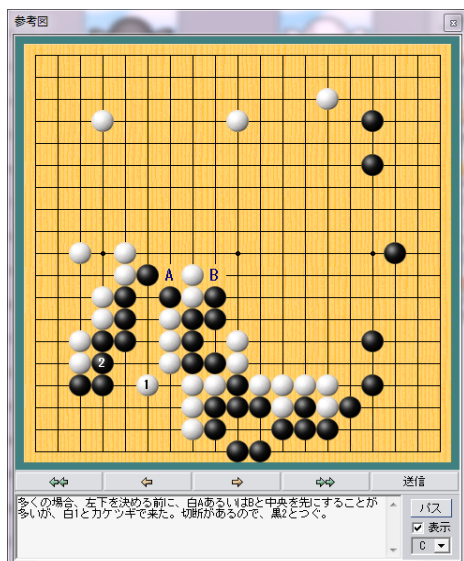


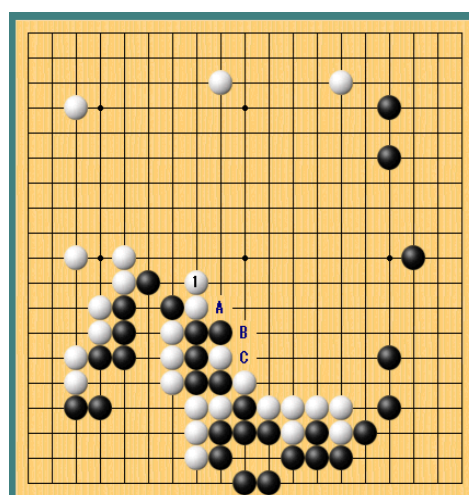
44. 下辺左側の白を生かさない対応（その後の検討のその後）

【72-1 図】



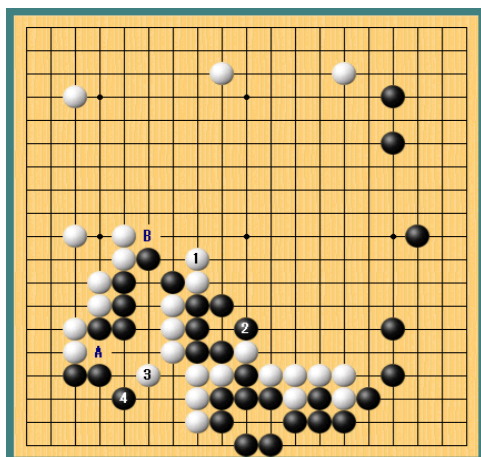
【72-1 図】（再掲）の白 1 のとき、黒 2 とツケノビの間をついで対応する検討を行ったが、しばしば、攻め合いに負けたり、セキになったり、難しい結果を経験した。そこで、ツケノビの間を出切らせることを検討し、結論を得たので、記載しておく。

【86-1 図】



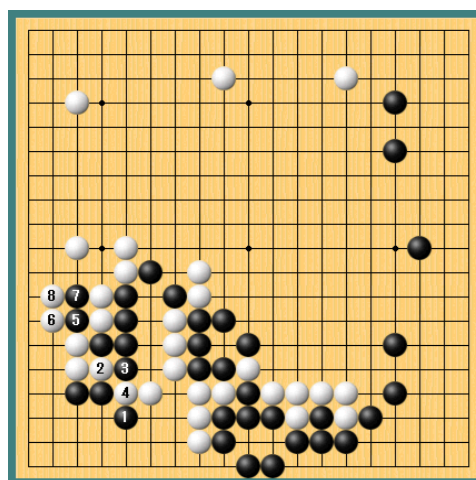
【86-1 図】多くの場合、Trend 君は白 A から押ししてくるが、この場合は白 1 と立ってきた。おそらく、白 A は下辺右側に悪影響があるということであろう。黒は B か C の選択がありそうだが、C と抜いてみた。後にハマリの図があることに気付くことになる。

【86-2 図】



【86-2 図】白 3 に黒 A とつぐのではなく、黒 4 とこすんで、白の眼形を妨げる。これまでの検討で、A をつぐタイミングは白 B と脱出を妨げられた瞬間がよいようである。

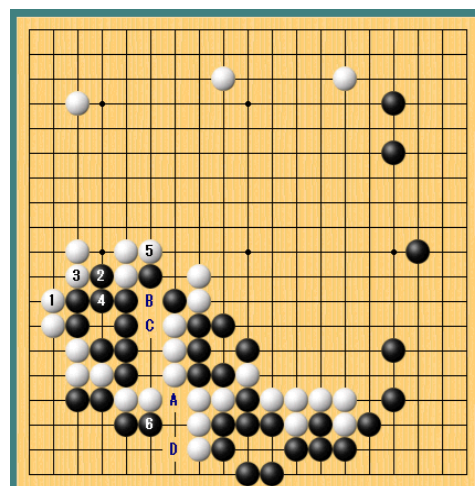
【86-3 図】



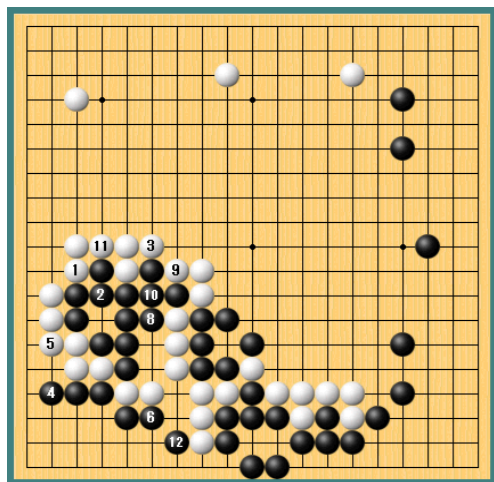
【86-3 図】黒 1 対して、当然白 2 から切断してくるが、白 4 の時に黒 5 と切る。切断しているので、4 線の 2 子を捨ててくる。

【86-4 図】 白 1 に 2 子を取り、白 3 には黒 4 と眼を確保する。白は 5 あるいは 2 の 1 路上を止めてくるので、黒 6 と白の A を欠け目にする。これて、白 B のホウリコミから白 C とダメをつけてきても、黒 D とすれば、目あり目なしの完成である。白 5 を優先してくれば、黒 3 をきかして、眼を確保する。

【86-4 図】



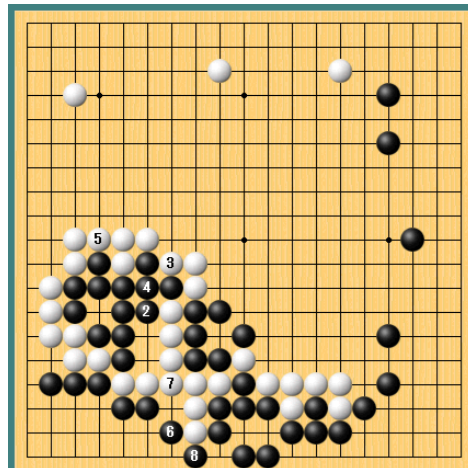
【86-5 図】



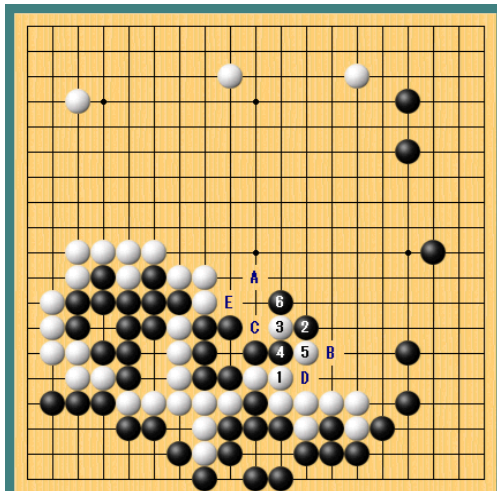
【86-5 図】 実戦では、黒 4 をきかして、黒 6 と白の眼を奪った。このように、目あり目なしで取ることができれば、ダメ空きで取れているので、寄せ合いになっても、容易に負けない。

【86-6 図】 白は 4 のところに放り込んでから、そのダメを詰めてきたが、白のダメも詰まるので、意味はない。黒 8 までで、左下隅は決着である。

【86-6 図】



【86-7 図】



【86-7 図】 白 1 とついで、中央の黒に的を絞ってきた。黒 A の選択肢もありそうだが、黒 2 と右辺に向かって逃げて、下辺右側の白を飲み込めないか検討した。白 3, 5 の時、黒 B とあてて、白をダンゴにしようとする、白 C、黒 D、白 E で、追い落としにはまる。単に黒 6 と取って、難を逃れた。(以下略、122 手まで黒中押勝ち)